

# 母子草

発行所  
水戸市八幡町11-52  
ラク・ハイツ内  
社会福祉法人  
茨城県母子寡婦福祉連合会  
029 (221) 7505  
編集発行者  
境 洋子

第519号



県母連は共同募金会の受配団体です。

## 令和元年度 第1回理事会の開催

去る5月31日に県母連第1回理事会が県青少年家庭課鈴木主査のご来賓のもとにラク・ハイツ会議室において開催されました。

議事に先立ち、境会長から、平成30年度事業の協力に対する御礼と、近年の会員の減少などに危機感を持ち、組織活性化のための取り組みの重要性を述べられました。

理事会での議事は、平成30年度の事業報告と収支決算並びに会計報告の後、監事から監査

結果報告があり可決されました。

また、役員改選期であるため、選任について審議を行い、原案どおり可決されました。そのほか2年ぶりとなる茨城県母子寡婦福祉大会の開催の承認、報告事項としてラク・ハイツの指定管理の受託、新入学児童祝い品の配布結果、介護職員初任者研修会の開催日程などの報告がありました。

### 令和元年度会員参加（主要）行事

日 程	行 事 名	場 所	事業内容・参加者等
8月30日(金)	第69回県母子寡婦福祉大会	ザ・ヒロサワ・シティ会館 (県民文化センター)	・会員が一堂に会し、功労者の表彰や要望書の採択などを行います。
9月21日(土) ～22日(日)	親子すこやか宿泊研修事業	県立こどもの城	・親子でお泊り、バーベキュー・ゲームなど楽しい企画を準備しています。
10月20日(日) (県南・県西)	若年母子家庭セミナー研修会	未定	・県内2ブロックで、生活に役立つ知識の習得などの研修会を開催します。
11月3日(日) (県央・県北・鹿行)		ラク・ハイツ会議室	
年度内	親子すこやか日帰り研修事業	—	・各地区母子会が親子で楽しめる行事を企画・実施しています。
年度内	母子家庭等指導講座事業	—	・各地区母子会主催で、料理やパン作りなどの技術習得のための講座を開催します。

## 第69回 茨城県母子寡婦福祉大会

**日 時** 令和元年8月30日(金曜日) 午前10時30分～

**会 場** ザ・ヒロサワ・シティ会館 (茨城県立県民文化センター) 大ホール

**主 催** 社会福祉法人 茨城県母子寡婦福祉連合会 **参加者** 県内母子家庭及び寡婦  
母子及び寡婦福祉関係団体関係者  
母子及び寡婦福祉

**共 催** 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会  
**後 援** 茨 城 県 行政等関係職員

## 県央・鹿行 ブロックだより

### 親子ふれあいバスツアー

水戸市母子寡婦福祉会

副会長 小林 寛 美

水戸市母子寡婦福祉会は発足してまだ数年という事もあり、親子すこやか日帰り研修事業において初めて、稲敷市にある「こもれび森のイバライド」へのバスツアーが開催できました。

計画をたてる役員会では、“親子の有意義な時間になれば”と願って、話し合いを重ねました。

小中学生の子供たちは冬休みに入ったばかりの12月23日(日)、14世帯33名の方にご参加いただき、赤塚駅から大型バスに乗り出発しました。車内では、子供たちもみんなきちんと自分で自己紹介ができ、席の近い方同士お話をしたり、なぞなぞをしたりしながら、あっという間に目的地へ到着しました。



到着後は早く遊びたい気持ちを抑え、集合写真を撮ってから、それぞれ楽しみにしていた所へ向かいました。シルバニアパークで遊んだり、動物と触れ合ったり、様々なアトラクションや乗り物に乗ったり、と午前中たくさん遊んでお腹が空いた頃、みんなで昼食です。バイキング形式のレストランで、サラダやスパゲッティなど、何度もおかわりしてお腹いっぱいいただきました。

その後は、もう一つのお楽しみ“アイスクリーム作り体験”です。アイスクリームを材料から作ることは、ほとんどの子が初めてで「これで出来るの?」「まだ混ぜるの?」「少しずつ出来てきた!!」などと話しながら、一生懸命混ぜて出来上がりました。寒い時期でしたが、自分で作ったアイスクリームは格別で楽しくおいしくいただきました。

午後からはお天気が心配されましたが、夕方までなんとか雨も降らず、楽しむことができました。園内では親子での自由行動でしたが、遠くからも子供たちの元気いっぱいの楽しそうな声が聞こえてきて、たくさんの笑顔も見ることができました。

帰りの車内では、遊び疲れた小さな子供たちはやすやすと眠り、小中学生たちは寝ている子に気遣い、静かにDVD鑑賞をしていました。自然にお互いを思いやる気持ちや助け合う気持ち、協力しあう事もこのような集団での経験から育っていくことも感じました。これからも、様々な体験を一緒にしながら、共に子供たちの成長を見守っていただけるような仲間が増えることを願い、活動をしていきたいと思えます。

### 楽しかったおとまり会

那珂市母子寡婦福祉会

三年 鹿志村 美 和

おおあらいこどものしろのおとまり会は今回で2回目のさんかです。

前におとまり会に行った時にやったビンゴ大会がとても楽しかったので、今度はどんな物が当たるかドキドキしながら参加しました。ビンゴ大会では、すぐにビンゴになりました。自分がほしい物をえらべたのでとてもうれしかったです。

みんなで遊ぶ時間では、わりばしとわごむを使って遊んだり、キャップをつみかさねたりしてとても楽しかったです。

こどものしろのおにわには、アスレチックがあ

り同じへやの友だちたちとみんなで遊びました。

みんなでうどん作りもしました。うどん作りでは、足でふんだり、切ったりするのがとても楽しかったです。前はできなかつたうどんをゆでる仕事は、あつかつたけれど上手にゆでることができました。同じグループの男の子の兄弟がとてもやさしかったので、みんなで楽しくおいしいうどんができました。かきあげうどんもおいしかったけ



れど、次は、わたしが大すきな、カレーうどんを作ってみたいです。

おふろもみんなで入りました。およげるくらい大きいおふろであたたかくて、気持ち良かった

です。

今回のおとまり会で初めてのお友だちとも楽しく遊べました。とても楽しかったので、次もまた、おとまり会に行きたいです。

## 母子寡婦福祉会に入会して

小美玉市母子寡婦福祉会

助 川 千恵子

知人からお料理教室に誘われて試しに参加してみました。身体に良くて手軽に作れる『骨元気メニュー』でした。そして年間行事は「バスで日帰り研修、健康体操、手芸や工作等をしたり、ふるさとふれあい祭りや福祉にっこり祭りへ盛り上げ隊としてのボランティア参加もありますよ。」とお聞きし、面白そうな会だなと即人会、あれから3年たちました。

昨年度は5月に総会を行い、7月に栃木県のエバラ食品へ工場見学に出かけました。すごいスピードで製品が流れる設備に驚き、日頃何気なく使っていた焼肉のタレが、より身近に感じました。道の駅喜連川で足湯につかったり、買物したりそれぞれに楽しみ、移動のバスの中では、食べ物の話でもりあがり、いつまでも話が続きとても楽しい見学研修でした。8月はふるさとふれあい祭り、

9月は福祉にっこり祭りに参加、10月には栄養士さんの指導で料理教室を行いました。メニューの一部には流行のサバ缶を利用した料理があり、手軽に作れて美味しかったです。12月は笠間市友部の筑波海軍航空隊記念館へ見学に。特攻隊で散った命、その家族の思いは胸に迫るものがありました。今の平和な日本がありがたいと思える1日でした。1月は新年会、3月の健康体操教室では、シルバーリハビリ体操、スクエア・ステップ、スカットボール等体操やゲームをして楽しみました。その他毎月のふれあい給食会のボランティアなどで、1年間の行事が終わりました。

今年度は、4月に移動総会と称し、土浦市の小町の里へ行き総会を行いました。6月には潮来方面へあやめやあじさい見物の予定です。

これからも元気によりよい日々が過ごせるように、積極的に行事に参加して、皆と交流して行けたらと思います。



## 活動近況報告

茨城町母子寡婦福祉会

会長 牧 野 鈴 枝

平成から令和元年と新たに気が引き締まる年号と、私個人の思いです。

昨年の事業、会員の協力の下つつがなく行うことが出来ました。

親子すこやか事業参加者は19名「つくば宇宙センターと柿狩り」宇宙センターでは無料見学コースにて、親子で実物大の宇宙船内や宇宙服の中を覗いたり写真取り合い異次元の体験です。昼食は「ポケットファームどきどき牛久店」でバイキング、新鮮な野菜や肉のしゃぶしゃぶ 特に時間をかけていたのはスイーツでした。柿のお土産持ったの普段忙しいお母さんとの一日でした。生活講座は、好評の「青大豆で作る味噌作り」。梅雨時にカビを取り除かないと失敗します。講座は会員参加、潰した大豆と麹菌を混ぜこねる時、手首に力を入れますが若い母子に手伝ってもらう寡婦もいました。

一人親世帯の新入学児童「いわい会贈呈式」は、町社会福祉協議会からの祝い金と共に文房具セットとお菓子を10名の児童にプレゼントできました。また、前日に父子家庭のお父様が亡くなられたと聞き（欠席だね…）ガッカリしていましたがおばあ様に連れられた児童が参加出来、主催者一同ホットでした。贈呈式の後には、消防の方に「救命処置」の講義していただきました。

只今、寡婦会員の方で体調の理由で辞められる方や亡くられる方がおられ会員の数が減少して来て居り頭の痛いところであります。これからもフードバンク事業等を活用し会員加入促進し、活力ある母子寡婦会にとしたいと思います。



## 城里町母子寡婦福祉会 活動行事等に関する事

城里町母子寡婦福祉会

会長 森 谷 真智子

城里町は平成17年に3町村が合併しました。城里町母子寡婦福祉会は、現在、寡婦22名・母子会員12名で構成され、活動を実施しています。

私は平成27年に城里町母子寡婦福祉会会長に就任し、今年度の役員改選にて再任となり、会長として5年目になります。

活動内容は、例年、春に日帰り研修・秋に一泊研修を企画し実行しています。

春の研修会は、5月24日に、町内の施設を利用し、会員の親睦を図りながら、ピザ焼き体験を実施しました。ピザ焼き体験では、ピザ生地をのばし、生地の上に地元産の野菜やキノコなどを



トッピングし、窯で焼いていただき、アツアツのピザを食べながら雑談し、近くの施設へ移動し、入浴もして楽しいひと時を過ごすことができました。

また、今回の研修先は町内という事もあり、会員の皆様もゆっくり時間を過ごし、喜んでいただくことが出来ました。

秋の研修は3年連続で大子町に一泊研修を実施しております。

秋は紅葉の季節。食欲の秋という事もあり、今年も企画を考えております。

研修会の参加者は寡婦会員がほとんどです。母子部会員は日中、仕事をしている方が多くなかなか研修会までは参加が難しいようです。母子部会員はフードバンク事業やリサイクル活動を実施しています。フードバンクの事業のほか、民生委員の方々にもご協力を頂いております。出荷前の野菜や、ご家庭で利用しない食品などを提供していただき、会員も喜んでおります。本当にご協力いただいている方々には、感謝しております。頂いた食品は母子部長が確認し、会員にメールにて連絡し部長宅へ取りに来ていただいております。リサイクル事業も同様に、町民の方から支援をいただき大変ありがたく思います。学校指定のジャージをはじめ、学用品の支給など、母子会員の方々からは子どもが今必要としている物を支援していただきありがたいとの声をいただいております。

今後は、寡婦会員・母子会員が両方参加できる事業を企画していけるようにしていきたいです。

## 県外視察研修会について

東海村母子寡婦福祉会

会長 境 洋 子

東海村母子寡婦福祉会では、例年県外視察研修会を一泊にて行っています。平成30年度は、11月20日～21日に会員13名で、福島県郡山市の「NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ」を視察研修してきました。当日は、村社協のご協力により、小型バスを利用させていただき女性の職員1名が同行して下さいました。「NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ」は、明るいひとり親家庭を目指して活動の輪を広げてきた団体です。私達は、10時30分～12時まで研修をしました。2011年の東日本大震災では、ひとり親家庭だけではなく、災害弱者ともいえる女性と子育て家庭に対象の幅を広げ、現在も支援活動を続けているそうです。又、福島県からの委託を受けて「ふくしま女性支援センター」を開設し、電話相談や茶

話会、子育て広場のほか、女性の就労支援ということで、手仕事ワークショップなども開催、完成した作品の販売もしているとのことでした。センターが出来たことにより様々なお友達ができる交流の場となったこと。精神的に疲れてしまった時、ホッとできる居場所があれば元気になれると思いました。又、震災後、ひとり親同志の絆がより一層強くなり、会員も増えているそうです。このような説明を聞いていた時、私の頭を過ぎったのは、先人達が戦後の荒廃した中、子を思うがゆえに同じ境遇の者同志が心をつなげて立ち上げたのが



母子会の始まりだということです。先人達が成し遂げた偉業に感謝です。

二日目は、気分を一転し、酒造を見学した後、

鶴ヶ城会館にて食事、買い物をして帰途に就きました。参加者一同和気あいあいと爽りある研修が出来ました。

## 母子会の活動

潮来市母子寡婦福祉会

会長 加藤 敏子

平成から令和へと元号が改められ皇室も新しい時代を迎えた五月。私達は寡婦11名と母子会員11名とその子ども達で新年度の活動を開始します。

平成30年度は総会を食事会と兼ねて行い、関ブロ大会では4名の参加で他県の方々のお話を伺



い交流をさせて頂きました。秋には夢の国「ディズニーランド」で楽しい思い出作り。クリスマス会は、生憎皆さんの都合がつかず中止せざるを得ませんでした。2月に寡婦研修として大洗の「潮騒の湯」にて癒しのひとときを満喫しました。

新入学児童のお祝い品の申し込みは7組でしたが、お祝い会には5組の親子の参加があり寡婦と社協の局長さんも参加のビンゴゲームで盛り上がりました。母子会への入会希望はなく、母子会のご案内を直接出来る唯一の機会であるのととても残念に思います。

会の存在を知らない方、知っても会という組織に興味を持たない、又、忙しくてかかわる余裕がない等、色々な理由があると思います。寡婦の皆さんは、かつて自分もそうであった様に頑張っている母子さんを、応援したいと入会をお待ちしております。

今年度は母子さんから新たに役員に加わって頂いたので、子育て中の貴重な意見を発信してもらいながら会の活性化を図っていきたくと思っています。そして活動する上では、行政の支援を頂かないと難しいと実感しています。今後共ご指導をよろしくお願い致します。

## 神栖市母子寡婦福祉会の活動

神栖市母子寡婦福祉会

副会長 福嶋 忍

新入学児を祝う会が、平成31年3月24日に行われました。内容は、「笑いヨガ」と「読み聞かせ」でした。子どもも大人も、たくさんの笑いにあふれ、楽しくすごすことができました。日々、生活に追われ、子育てに悩むお母さんも、笑顔いっぱい。子どもは、素直な自然な笑顔。役員の私達も、お腹の底から笑うことができました。終わったあとはなんだか、スッキリ!!笑いの大切さを知ることができたと同時に、笑う難しさも感じました。何より、参加したみんなが、一体となれたことに、喜びを感じました。

その後の絵本の読み聞かせは、もうすぐ1年生らしく、集中して聞くことができました。

新年度に入り、令和元年5月19日には、総会が行われました。昨年度の事業をふり返りながら、今年度の説明。参加した方は、よく聞いていて、今年度も、みんな仲よく、笑顔がたくさんの方に

なれたらと思います。

その後は、お昼ごはんを食べながらの交流へ。日頃の悩みや、今後のこと、子育てのことなど、リラックスした時間でたくさん会話することができました。

子育てが、一段落した私にとって、笑いヨガでの幸せいっばいの笑顔や、子育て中のお母さん方の話を聞くことが、私の生きる力となっています。他の寡婦の方も同様な心で活動を行っているので、会の活動は、とてもなごやかにできています。自分達の経験を話したり、聞いたりすることで、人として共に成長していけたらと願い役員として活動を頑張っています。





## 親子すこやか宿泊研修

日 程	9月21日(土)～9月22日(日)
場 所	県立児童センターこどもの城(大洗町)
対 象 者	母子家庭の母と子ども ※全日程参加できる方
募集人員	80名程度
参加費	1世帯500円
申込期限	8月16日(金)
その 他	現地集合・現地解散 宿泊研修終了後、希望者のみアクアワールド茨城県大洗水族館の見学を予定しています。但し、参加者20名以下の場合には中止とします。 参加費/大人930円、小・中学生460円、幼児(3才以上)150円
問合せ先	母子・父子福祉センター ☎029-221-8497

## 日常生活支援事業の利用について

\*8月はひとり親家庭等家庭生活支援員派遣等対象家庭名簿の再登録の時期です\*

ひとり親家庭の母、父、寡婦の方が、病気で体調が悪いとき、残業や出張、学校の行事に参加する時など、一時的に生活援助または子育て支援が利用できます。

利用するにはお住まいの市町村役場の福祉担当窓口で「ひとり親家庭等生活支援員派遣等対象家庭名簿登録申請」の手続きが必要です。

すでに登録済みの方でも**毎年8月には再登録が必要**です。児童扶養手当の現況届と一緒に申請しておくとう便利です。突発的な状況に備えて手続きしておきましょう。(申請する時は印鑑とマイナンバーがわかるものをお持ちください。)

詳しいことは母子・父子福祉センター(029-221-8497)までお問合せください。

## ひとり親家庭の母・父のための「パソコン講習会」

(1)エクセル基礎編 (2)ワード基礎編

日 時	(1)9月28日(土)、10月12日(土) (2)10月26日(土)、11月9日(土)	自己負担額 1,000円(資料代)
場 所	クリアートパソコン教室 ※無料駐車場有り (水戸市北見町8-12)	応募締切 (1)9月13日(金) (2)10月11日(金)
定 員	各15名(応募者多数の場合は抽選)	申込み・問合せ先
託 児	2歳以上(事前予約が必要)	(社福)茨城県母子寡婦福祉連合会
対 象 者	ひとり親家庭の母・父及び寡婦で2日間必ず出席できるパソコン初心者	茨城県母子家庭等就業・自立支援センター 水戸市三の丸1-7-41 TEL 029-233-2355



## 編集後記

- ◇ 30年間続いた「平成」の元号が令和に改められ、2ヶ月が経過しました。去りゆく時代の寂しさと新しい元号の時代の期待が入り混じっているこの頃です。
- ◇ 機関紙「母子草」は、従前は縦書きのスタイルでしたが、平成26年6月発行の第504号から横書きになりました。その1年前から「母子草」を県母連のホームページに掲載し、会員のみならず、一般の方にも閲覧できるよう広く情報の発信をしています。
- ◇ 市町村母子寡婦福祉会で取り組まれている行事や県母連からの情報提供など、会員の皆様に広く紹介していきたいと思っております。これからもご寄稿よろしくお願ひします。(事務局長)

## 母子会加入のお知らせ

各市町村の母子会では、新しい仲間を募集しています。  
あなたもお近くの母子会に入って、一緒に事業に参加しませんか。

お問い合わせ (社福)茨城県母子寡婦福祉連合会 TEL029-221-7505